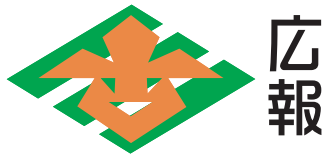


清流に元気あふれるまち “古座川”

2013



広報

こざがわ 4

Vol.129

大きくなってね



元気いっぱい！
稚アユの放流

町長 施政方針 - 2013 -

町長が発表した新年度 三本柱のチャレンジ

古座川町議会3月定例会町長施政方針（要旨）

● 行財政運営

平成25年度当初予算の規模は総額で44億948万4千円を計上し、前年度比5億4,767万6千円の増（14.18%）の積極的な予算編成を行い、健全でメリハリのある財政運営を行います。（当初予算の詳細は6p～7p）

● 町職員

厳しい財政状況や限られた人材の中で、組織として成長し、住民サービスの向上を図るには、組織全体で職員の能力を向上し、力を発揮することが求められています。このような中、能力・実績に基づく人事管理が求められており、当町では「人づくりから始まるまちづくり」をテーマとして「求める職員像」を実現するため育成型の人事評価制度を構築します。構築後は、試行期間をへて最終的に処遇への活用を図り、職員の能力の向上と力量の発揮ができる人材、職場づくりをめざします。



1

高齢者福祉とくらしやすいまちづくり

少子高齢化の対策として定住人口の増加を図るため、川口地区に少人数タイプ及びファミリータイプの住宅の建設を進めます。隣接地には、診療所や社会福祉協議会等の複合施設として保健福祉センター（仮称）の建設も進め、地域医療の充実、福祉の向上に努めます。

● 保健福祉センター（仮称）の整備

川口地区に計画しています保健福祉センター（仮称）ですが、平成25年度、平成26年度の2箇年で約5億円の事業費規模で建設を進めます。

平成23年9月の台風12号で被災した明神診療所をはじめ、役場の保健福祉業務（これには明神出張所業務も含まれます。）、さらに地域包括支援センター、社会福祉協議会などを一体とする保健・医療・福祉等の複合施設を整備し、災害にも対応した将来の古座川町の保健福祉の拠点機能を有する施設です。今現在、建物の実施設計に取り掛かっているところですが、運営計画についても、各現場担当者で構成するワーキング会議や、診療所の医師二人を交えた検討会議、また関係機関との協議などの会合を進めています。今後は、円滑な施設整備と内容ある運営計画の実現に向け、住民の皆さんが安心できる保健福祉の拠点として、その整備を推進します。

● 簡易水道の整備

川口地区の水道施設の老朽化に対し、川口・明神団地に簡易水道を新設します。工事は、現在予定している町営住宅、保健福祉センター（仮称）の工事に合わせて実施する計画で進めています。また、現在町が管理している簡易水道については、引き続き漏水箇所調査、水質検査等を行い、安全で安心な給水に努めます。

● 高齢者福祉

平成24年度から3箇年計画で、高齢者保健福祉計画及び第5期介護保険事業計画を進めています。計画に盛り込まれています高齢者福祉施策につきまして、各関係機関との連携を一層強化し、計画的に取り組みます。社会福祉協議会への委託事業としては、平成22年度から実施しております要援護者見守り事業のほか、平成24年度からは、新たに健康調査訪問事業として、看護師1名を雇用し、高齢者在宅世帯等を訪問し、健康状態や生活状況等について、心身共にサポートするとともに、地域包括支援センターによる介護相談や、診療所など医療機関とも連携しながら、住民の健康と生活相談の対応に努めます。また、高齢者や身体障害者の居宅内の転倒防止のための手すりの設置や段差解消のための事業への補助制度、筋トレ・脳トレ教室などの認知症対策、介護予防の支援事業など、高齢者の方が、安心して暮せるまちづくりを進めます。





● 子育て支援

当町の毎年の出生数は、10人前後と少ない状況にあります。安心して子育てができるよう子育て支援について、積極的に進めます。子ども医療費の助成につきまして、平成24年8月より子育て支援の一環として、町内の中学生までの子どもの医療費を無料としています。保育所につきましては、高池保育所と三尾川へき地保育所の相互交流や、地元の高齢者など地域との交流活動を積極的に進め、子育て支援の活動の輪を広めるとともに、子どもたちが明るく伸び伸びと育つ環境づくりに取り組みます。

● 障害者総合支援

障害者福祉について、その取り組みを進めます。平成25年4月1日より、従来の障害者自立支援法が改正され、新たに障害者総合支援法が施行されます。法律の改正により、「障害者」の定義に「難病等」を新たに加え、難病患者が福祉サービスを受けられるようになります。その他にも障害程度区分の見直し等も行われます。障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するため、生活介護や施設入所支援、就労支援などに努めます。

● 予防接種事業

平成24年度に任意予防接種で実施しました小児用肺炎球菌ワクチン、ヒブワクチン及び子宮頸がんワクチンの予防接種は、平成25年度から定期予防接種となる予定です。また、75歳以上の住民の方々を対象にした肺炎球菌ワクチン接種事業も実施します。このほか、総合健診事業や予防接種事業を行い、公衆衛生の向上及び住民の健康増進に努めます。

● 診療所

明神診療所、七川診療所および3箇所のへき地診療所を地域医療の拠点施設として2名の医師が診療を行います。七川診療所につきましては、平成25年度から整形外科医師による月1回程度の外来診察を計画しており、高齢者の日常生活に影響する運動機能などの診察科目の充実に努めます。また、内視鏡などの新規に導入した医療機器の使用技術の習得、医療の質の向上に努め、七川地域の医療拠点として、その機能を高めます。明神診療所につきましては、現在、仮設診療所での診療となっていますが、川口地区に新たな施設が整備される平成26年度末までの、2年間につきましては、三尾川へき地診療所も併用しながら、これまでどおり地域に密着した診療業務に努めます。



● 環境衛生

平成25年度末を完成予定とする串本町古座川町衛生施設事務組合の汚泥再生処理センター建設関係ですが、建設に伴う池野山環境整備事業については、道の駅やグランドゴルフ場などの駐車場や公園の整備に着手し、池野山地区の環境整備を進めます。ごみ収集事業につきましては、平成24年度に老朽化した収集車両などの購入を行いました。本年度はクレーン付き貨物運搬車を一台購入する計画です。



2

災害に強く、安全・安心に くらするまちづくり

近い将来、高い確率で発生が予想されている東海・東南海・南海地震などの災害から住民を守るため、避難施設（避難路・一時避難場所など）の整備や太陽光発電の避難誘導灯の整備、津波ハザードマップの作成、住家被害認定土養成研修への参加、孤立集落対策事業としましては、24箇所に発電機等の整備、平井地区のヘリポートの整備などを行い、災害時における住民の安全を守ります。また、旧古座高校愛宕寮を改修し、平常時は住民活動の場や会議室、防災関係備蓄品等の保管施設として使用し、災害時には地域住民の避難場所や災害対策本部の代替え施設としての活用を図るための整備を行います。さらに、さまざまな災害等に対し、危機管理体制の強化を図り、今後、防災意識の普及啓発を推進し、地域防災組織の育成強化をより一層充実させるため、避難路の整備に必要な資機材の経費についての補助を実施します。

● 道路等の整備

町道につきましては、昨年に引き続き「下露小川1号線」「岩井谷1号線」「直見和田地線」の道路改良を実施します。国道・県道の改良促進のためには、地籍調査を先行させることが必要不可欠です。国道371号につきましては、平成22年度から継続的に地籍調査を実施していますが、平成25年度で現地測量を完了予定である松の前から真砂間に引き続き、佐田から添野川の一部と鶴川の地籍調査を新たに実施します。また、県道の改良につきましては、「県道串本古座川線」、「県道すさみ古座線」等の狭隘箇所の改良促進など必要な箇所から順次進められてきています。小川地区の振興に欠かせない「中崎トンネル」の工事着手は、平成25年度の前期予定との報告を受けています。平成27年度予定のすさみ西インターの竣工に合わせ、町内基幹道路網の整備促進を進めていきたいと考えています。



● 学校防災

地震、津波、洪水等の災害から子供たちの命を守り、被害を最小限に抑えるために、「防災教育」「防災管理」「防災に関する組織活動」を学校教育活動全体の中で計画的、組織的に取り組みます。防災管理面につきましては、すべての学校にガラス飛散防止フィルムを教室の窓ガラスに貼り付けます。また、明神中学校、古座中学校の体育館につきましては、非構造部材の耐震診断を行います。防災教育面では、避難訓練を保護者の皆様や地域の皆様と合同で実施し、緊急時の行動を共有します。各教科の授業の中に、地震、津波、洪水などの学習を組み入れ、自らの命を守る主体者としての自覚を持たせます。学校職員には、これまで以上に防災に関する研修の機会を設けます。

3

● 活力あふれるまちづくり



高齢化が進む中、耕作を続けることが困難な状況が続いております。このような中、地場産業の振興は、重要な課題といえます。

耕作放棄地を活用した取り組みについては、平成24年度から、古座川地域農業再生協議会の一員として、南紀森林組合が稲作の実証事業に取り組みましたが、平成25年度は、昨年導入しました農業機械を活用し、地域の力として引き続き耕作を行います。同様に農機具の導入補助を受けました「古座川にんにく生産組合」は、新たに西川や大柳など5地区で40アールの作付けを行い、更に110アールについて野菜栽培も含め今年の秋の作付けをめざし、土作りなどに取り組んでいます。また、物産販売用として野菜栽培の取り組みが始まっており、導入した農機具を活用しながら、新たな組織の参画や販路の開拓等を探ります。

ゆず・しきみ・千両の推奨三品目につきましても、苗や施設補助事業を行い、引き続き奨励に努めます。玉川大学「コスモス祭」への参加は、平成23年度から取り組んでいます。本年度も生産者等に広く呼びかけ「古座川町の物産と観光資源の宣伝」と位置づけ、時代のニーズにあった取り組みを行います。

ニホンミツバチのハチミツにつきましては、品質が良く高い評価を得ていますが、玉川大学との連携により販売が定着化してきており、今後は安定供給に取り組めます。キョウジョウロウホトトギスにつきましては、定住センターと協力しながら、和歌山県福祉事業団と連携して販売に取り組んでいます。愛好者に人気が高く、販路の目途が付いたことから栽培者の増加と安定生産を目指し、産業化に向けて取り組みます。

● 地域づくり施策



「古座川の秋まつり」は、平成24年度で26回を数え、地域の絆と活力をささえてきましたが、前回から、若者11名で構成する「若者未来協議会」が企画、立案に携わっています。平成25年度も協議会が中心となり、多くの町民の方が参加できる取り組みを進め、地域の産業、製品の紹介と賑わいの場をつくっていきます。また、都市部の大学生を対象にインターンシップ事業に取り組み、

古座川町ファンを全国に広め、地域の活性化につなげます。地域の活動拠点の整備については、木材やしきみ等の特用林産物の生産が期待される添野川地区に、集会施設を建設し、地域ネットワークや組織力の維持と、地場産業の活性化につなげるとともに、防災拠点を確保します。

● 鳥獣害対策

近年、古座川町における鳥獣被害は、シカ・イノシシ・サルを中心として、農作物に被害を与え、生産意欲の低下をもたらし、その影響は町内全域において深刻な問題となっています。平成24年度の有害駆除捕獲実績は、平成25年2月末現在シカ467頭、イノシシ109頭、サル118頭となっていますが、サルの駆除数については、前年度の2.2倍ですが、シカは83%（76頭の減少）となっています。このようなことから、シカの捕獲強化に取り組むため、平成25年度を試行期間として、年間駆除数800頭を目標に、狩猟期間中の捕獲についても、1頭につき1万5千円の報償費を新設します。また、増加していますライグマの捕獲についても報償費を新設し、捕獲の強化・防護対策・環境整備等効果的な対策を推進します。平成23年度から緊急雇用創出事業臨時特例基金活用事業を活用し、取り組んでいました「鳥獣被害見回り駆除隊」については、平成25年度は、サルの駆除対策を重点に、隊員2名の編成隊で、サルの出没区域を中心に個体調査、追い払い、駆除等の取り組みを総合的にを行います。



● 定住関係

過疎対策として若い働く世代の確保と定住のため、和歌山県定住センターと緊密な協力体制を築きながら、都市部への情報発信に努め、地域の慣習や暮らしについて紹介し、地域に根付く定住促進を推進します。



● 林業施策

平成24年4月よりこれまでの森林施業計画に代わり森林経営計画が施行されました。

この計画を基に間伐材の利活用など林業生産活動の改善に積極的に取り組むと共に、地域林業を担う南紀森林組合に対して、高性能機械（ハーベスタとフォアード）を導入する事業への助成を行い、戦後植林された人工林を中心に充実しつつある資源の活用と森林の整備を進めるとともに、低コスト林業を推進します。古座川産材の需要拡大については、昨年、「古座川町木材利用促進基本方針」を制定しました。安全性や耐火基準、コストなどを考慮し、木造、木質化できる公共建築物等については、積極的に古座川産材の利用に努め、平成25年度から計画しています保健福祉センター（仮称）、虫喰岩の道の駅、添野川集会所、平井公衆トイレなど公共施設の木造化を実施し、平成24年度から実施している古座川町木造住宅等推進事業を引き続き推進します。



● 観光振興

平成25年度も体験型観光を推し進めるため、古座川観光の中核であります「ぼたん荘」への委託事業として、スタッフ2名を雇用し、宿泊事業者と体験観光事業者が連携・協力を図ることで、複合的な体験観光の提供を目指します。観光拠点の整備については、虫喰岩の道の駅施設や平井公衆トイレの建設を行います。また、和歌山県が中心となり平成25年度から実施される、南紀熊野ジオパーク推進協議会が取り組む事業に参加し、一枚岩や滝の拝など、地質遺産を観光の対象として活用し、地域の活性化を図ると共に、JR6社の協力による和歌山デスティネーションキャンペーンを通じ、古座川町の観光資源をPRします。

● 教育関係

平成24年度は3名の特別支援員を配置していましたが、平成25年度は、さらに1名増やして4名の支援員を配置し、特別支援教育の充実強化を更に推進します。

また、学校統合により廃校となった学校、そして現在設置されている学校の校歌をCD化し保存することにより、町民の皆様の胸に生き続ける事ができる校歌として残していきます。

そして、町内の小中学校の図書をパソコンとソフトウェアを使って図書データベースを電子化し、学校図書の貸し出し管理や各学校がインターネット上からの蔵書検索を可能にします。これにより、学校図書を学校間で共有できるシステムを整備します。



● 川崎市児童との交流学習

川崎市児童の受け入れ事業は10年目を迎えます。また4年目となりますが、古座川町の児童による川崎市訪問事業を引き続き実施いたします。コミュニケーション能力、協調性、積極性を身につけ、心豊かでたくましい児童の育成を目指します。

● 青少年近畿・全国スポーツ大会出場補助金事業

古座川町のスポーツ振興と青少年健全育成を図るため、スポーツ活動に取り組んでいる団体、個人が近畿大会以上の大会に代表として出場する場合に、その旅費の一部を補助します。



● 古座川町史完成記念シンポジウム

近世史料編、近現代史料編、民俗編に続き、古座川通史編が刊行されます。古座川町史編纂終了を記念し、広く町内外の皆様にご覧いただく事を目的に、シンポジウムを開催します。



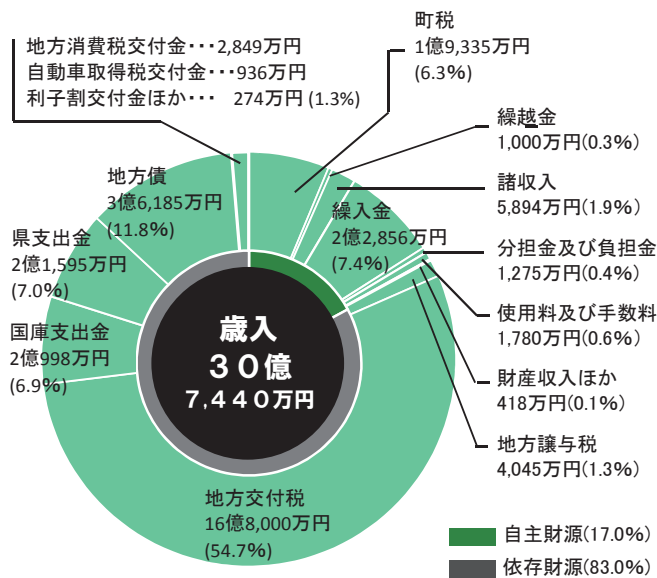
以上これらの施策を実施してまいります新年度予算といたしまして、一般会計での歳入歳出の予算総額は、それぞれ30億7,440万円とし、前年度対比4億4,320万円（16.84%）の増額を行い、「高齢者対策とくらしやすいまちづくり」、「災害に強く、安心・安全にくらせるまちづくり」また「活力あふれるまちづくり」に向けて、より一層の推進を図るため積極型の予算編成といたしました。また、国民健康保険特別会計を始めとする、7つの特別会計予算総額は、13億3,508万4千円といたしました。すべての会計予算総額は、44億948万4千円とし、前年度対比では、5億4,767万6千円、率では14.18%の増といたしました。古座川町といたしましては、今後、厳しい財政状況が予想されますが、健全財政の堅持を図りつつ、町民の皆様への行政に対するご要望に、でき得る限り応えてまいりたいと存じますので、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

平成25年度一般会計当初予算 30億7,440万円

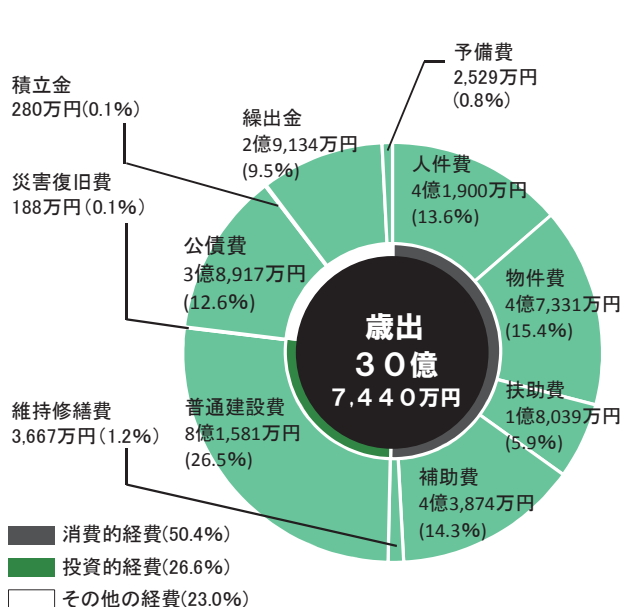
対前年度比16.8%増の積極型予算

3月定例議会で原案可決

歳入



歳出



歳入 財政調整基金の活用

▼一般会計の歳入は、前年度と比較して約4億4千万円増額し、30億7400万円となります。増額の主な要因は、繰入金1億8927万円、県支出金9867万円、地方債1億7107万円の増です。繰入金のうち財政調整基金繰入金が1億2千万円となり、この基金からの当初予算での繰入は8年振りのこととなります。歳入は税込などの「自主財源」と国や県から受ける「依存財源」の2つに大きく分けられます。自主財源が多いほど、町独自のサービスをしたり、行政の安定性が確保されることとなります。平成25年度の自主財源は17%にとどまっています。

歳出 投資的経費12.9%増

▼歳出は人件費、物件費、扶助費等の「消費的経費」と、公共施設の建設等、行政水準の向上にかかる普通建設事業費等の「投資的経費」に分けることができます。前年度と比較して、「消費的経費」では人件費が738万円の減額、物件費が1743万円の減額、扶助費が1717万円の増額となり、全体では645万円の減額の0.4%の減となっています。「投資的経費」では普通建設事業費が4億5925万円増額となり、12.9%の大幅な増となっています。今後も事業の選択と集中を行い、計画的な経費削減を図りながら、より効果的な財政運営を進めます。

特別会計 …… 予算

特別会計名	予算額
国民健康保険特別会計	4億6,040万円
国保七川診療所特別会計	8,935万円
国保明神診療所特別会計	4,839万円
へき地診療所特別会計	3,464万円
簡易水道事業特別会計	1億1,133万円
介護保険特別会計	4億8,138万円
後期高齢者医療特別会計	1億959万円
特別会計 合計	13億3,508万円

7会計総額 13億3508万円

▼特別会計は、一般会計の歳入歳出予算と区分して整理する必要がある場合や、特定の事業を行う場合設置するもので、古座川町には7つの特別会計があります。7会計の予算の合計額は13億3508万円となり、前年度と比較して1億448万円増額の7.8%の増となっています。中でも簡易水道事業特別会計は川口地区の簡易水道整備事業の関係で7094万円の増額、176%の増となっています。7会計に対しての一般会計からの繰出金の合計額は2億8647万円です。

平成25年度 主な新規・拡充・重点事業(7億3,207万円)

高齢者福祉とくらしやすいまちづくり (224,190千円 新規:2継続:2)

- ・保健福祉センター(仮称)建設事業(87,698千円) 新
- ・公営住宅建設事業(130,192千円) 新
- ・健康調査訪問事業委託料(3,000千円) 継
- ・要介護者見守り事業(3,300千円) 継



災害に強く、安心・安全にくらせるまちづくり (290,288千円 新規:7継続:3)

- ・防災拠点施設整備事業(56,846千円) 新
- ・避難施設整備事業(3,000千円) 継
- ・LED避難誘導灯設置事業(16,322千円) 新
- ・津波ハザードマップ作成事業(2,620千円) 新
- ・耐震性貯水槽新設事業(14,000千円) 継
- ・平井地区ヘリポート整備事業(10,000千円) 新
- ・応急災害対策事業(1,500千円) 新
- ・自主防災活動支援補助事業(3,000千円) 新
- ・添野川集会所新築事業(45,000千円) 新
- ・町道改良事業(138,000千円) 継

活力あふれるまちづくり (217,594千円 新規5: 継続:5)

- ・虫喰岩物産販売所新築事業(19,100千円) 新
- ・虫喰岩公衆トイレ新築事業(22,700千円) 新
- ・体験観光事業連帯推進業務委託事業(5,000千円) 新
- ・古座川町木造住宅等促進事業(5,500千円) 継
- ・有害鳥獣捕獲事業(15,840千円) 継
- ・学校図書環境整備推進事業(3,774千円) 新
- ・校歌CD制作業務委託事業(1,260千円) 新
- ・教育支援活動事業(753千円) 継
- ・子ども医療費助成事業(3,667千円) 継
- ・池野山環境整備事業(140,000千円) 継

※「新」……新規事業、「継」……継続事業

町税

納め忘れていませんか？

町税はまちづくりを支える大切な財源です。

税金を滞納すると本来納める税金の他に督促手数料、延滞金が増算されます。さらに、税金を滞納したままになっていると、法律に基づき滞納者の意思に関わりなく、強制的に預金や家屋など財産の差押さえ、公売等の滞納処分を受け

ることになりますので、納期内に必ず納税してください。

また、昼間は仕事の都合等の理由により役場へ来庁ができないという方は、事前に電話連絡ください。夜間でも随時、担当職員が納税相談に応じます。



問

財政課

消防自動車が寄贈されました！

一般社団法人 日本損害保険協会様から、古座川町へ平成25年2月25日、小型動力ポンプ付軽消防自動車1台が寄贈されました。古座川町役場前で受納式を開催し、町職員、消防団員約20名が出席しました。受納式の後、月野瀬の消防水利に移動して、消防ポンプ等の操作方法を教わりました。寄贈された軽消防自動車は、小回りが利いて機動性に優れており、狭い道路等で活動しやすく、住宅火災等の消火活動に有効であり、住宅が密集している地域の古座川町消防団 高池分団に配備しました。一般社団法人 日本損害保険協会様は、防災活動の一環として、地域における消防力の強化・拡充に貢献することを目的に、平成24年度は、全国20市区町村と8つの離島の消防団に対して、小型動力ポンプ付軽消防自動車を計28台寄贈されております。

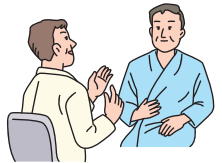
【総務課】



役場前での受納式

大切な体のために…

平成25年度の健診日程



総合(特定)健診

日程	健診名	受付時間	会場	対象地区
5月19日(日)	総合健診	午前7時30分～9時00分	古座川町中央公民館	高池地区
5月20日(月)		午前7時30分～8時00分		
5月21日(火)		午前7時30分～8時30分	七川中学校体育館	七川地区
		午前8時30分～9時30分		

乳がん・子宮がん検診

日程	検診名	受付時間	会場	対象地区
6月9日(日)	乳がんのみ	午前7時30分～8時	古座川町中央公民館	高池地区
	乳がん・子宮がん両方	午前8時～8時30分		
	子宮がんのみ	午前8時30分～9時30分		
6月10日(月)	乳がん	午後1時00分～2時00時	三尾川生活改善センター	三尾川地区・七川地区
	子宮がん	午後1時30分～2時00時		
6月11日(火)	乳がん	午後1時00分～2時00時	明神生活改善センター	明神地区・小川地区
	子宮がん	午後1時30分～2時00時		

水のまちづくり推進協議会の実績

◇ 古座川写真コンテスト

「古座川の水と人との関わり」をテーマに、古座川フォトコンテストを開催しました。25作品の応募があり、平成25年1月30日に審査会を開催し、秋まつりでの一般投票と協議会メンバーの審査により、6点の入賞作品が決定しました。入賞した作品は、観光パンフレットやポスター等に使用するなど、今後の観光PR等に広く活用させていただきます。

◇ ポスター作成

清流古座川の認知度向上と観光客の誘客を図る為、清流古座川を印象付けるポスターを2種類作成しました。「古座川写真コンテスト」で入賞した作品などを活用しています。

◇ 古座川体験観光MAP作成

町内の体験観光事業者を紹介する『古座川体験観光MAP』を作成しました。各体験事業内容の説明や、事業者の方の似顔絵イラストを記載しています。平成25年3月からぼたん荘に『古座川体験観光案内所』を設置しており、そこを中心としたMAPとなっております。



◇ 古座川ならではの食事メニュー開発

協議会メンバーで試作・試食会等を重ね、古座川町産の原木しいたけを使った「原木しいたけのタタキ」と「原木しいたけのそぼろ丼」を開発しました。現在、ぼたん荘の日替わりランチ等で提供を開始しており大好評です。

◇ 特産品開発支援

地域の特性を生かした特産品開発支援事業により、道の駅「一枚岩」で国指定天然記念物の一枚岩にちなんだお土産「一枚岩の守り犬クッキー」が初登場しました。両面に町の商標登録キャラクター「一枚岩の守り犬」の焼き印を押したお菓子で、包装紙にも一枚岩の写真や同キャラクターのロゴマークを使用しています。現在、道の駅「一枚岩」で販売中です。

◇ 民話絵本作成

古座川に伝わる民話をもとに創作民話『瀧之拝太郎』、『一枚岩の守り犬』の絵本を作成しました。イラストは内田恵介さん（串本建設部長）に作成を依頼し、作成した絵本は、道の駅等の観光施設への配布や、ゆるキャラ「瀧之拝太郎」が参加するイベント等で配布しPRしていきます。

【産業振興課】



清流古座川のインパクトあるポスターが完成



こさがわ町の取り組み

平成23年の台風12号から

被災した橋が復旧

平成23年の台風12号で被災した、蔵土地内の下蔵土橋及び大川地内の長松橋の復旧工事が完了しました。【建設課】

〈長松橋〉

〈下蔵土橋〉



復旧前



復旧後

月野瀬にて

春の交通安全運動

4月8日、月野瀬で毎年恒例の街頭啓発を行いました。

「子供と高齢者の交通事故防止」「自転車の安全利用の推進」「シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底」「飲酒運転の根絶」を重点項目として、町交通指導員・母の会のメンバーが、朝出勤するドライバーの一人ひとりに啓発グッズを配布しながら交通安全を呼びかけました。

【総務課】



啓発グッズ渡す町長と指導員

女性消防団の新たな試み

女性消防団 紙芝居で啓発活動

平成25年春季全国火災予防運動期間に係る活動として、女性消防団員が独居高齢者世帯等約50世帯を訪問し、防火診断や、防火に関する啓発を高池、明神、三尾川、七川の各分団が行いました。町内の保育所で園児を対象に紙芝居を使って、災害や生活事故に関する啓発活動を実施しました。【総務課】



保育所にて啓発活動

平成25年度 行政相談

日常生活での困り事やこうして欲しいなど、行政なんでも相談です。
相談は無料で、秘密は堅く守られますので、お気軽にご相談下さい。
なお、平成25年度5月以降の開設予定は次のとおりです。

平成25年度定例行政相談所開設年間計画

実施年月日	地区名	開催場所
5月23日(木)	電話相談のみ	午前9時～11時(☎72-2988)
6月20日(木)	佐田	七川総合集会所
7月18日(木)	三尾川	三尾川生活改善センター
8月22日(木)	明神	明神生活改善センター
9月19日(木)	電話相談のみ	午前9時～11時(☎72-2988)
10月17日(木)	高池	中央公民館
11月21日(木)	佐田	七川総合集会所
12月19日(木)	三尾川	三尾川生活改善センター
1月16日(木)	明神	明神生活改善センター
2月20日(木)	電話相談のみ	午前9時～11時(☎72-2988)
3月20日(木)	佐田	七川総合集会所

※開設時間は、午後1時～4時です。

※いずれも午前中は電話相談を開設しております。(午前9時～11時)

(問) 行政相談委員(総務大臣委嘱) 小田豊彦(☎72-2988)
古座川町役場 総務課 (☎72-0180)

【総務課】



KOZAGAWA

お知らせと情報

入山注意!
ニホンジカ管理捕獲が
始まりました

和歌山県では、農作物に被害を及ぼしているシカを減らすため、4月1日から5月20日までの間、シカの捕獲を実施しています。
入山の際には、不慮の事故を防止するため、捕獲者から見て分かりやすい赤や黄色などの色がはっきりした服装で入山いただくなど、十分ご注意ください。



問
産業振興課

町税等の納期限

税目	期別	納期限
介護保険料	第1期	平成25年 4月30日
固定資産税	第1期	平成25年 5月31日
軽自動車税	第1期	
介護保険料	第2期	平成25年 7月1日
町県民税	第1期	
介護保険料	第3期	

* 納期限を過ぎると、督促手数料や延滞金が増加されます。
【財政課】

今日からおともだち

保育園で 入園式

4月5日に高池保育所、4月10日に三尾川へき地保育所の入園式が行われました。今年度の新入園児は次の皆さんです。



高池保育所

〈高池保育所〉

青組(5歳児) 大岡 和樹
峠 佑征
深海 天馬
黄組(4歳児) 峠 衣胡実
桃組(3歳児) 大岡 悠人
日下 稜介
緑組(2歳児) 八舟 諒汰
赤組(1歳児) 山口 愛翔
赤組(0歳児) 橘 楓華
山崎 心陽



三尾川へき地保育所

〈三尾川へき地保育所〉

黄組(4歳児) 杉本 颯介
桃組(3歳児) 上根 美優
杉本 仁
緑組(2歳児) 上根 史人
森本 彩愛

【住民福祉課】

- Kozagawa topics -



町の出来事

劇団わらび座をお招きして

走れメロスを上演



迫力満点の演奏を披露

3月17日に町民体育館で人権のつどいが開催されました。今年は、劇団わらび座をお招きし、ミュージカル「走れメロス」を上演しました。当日は、約300人が来場し、普段は見ることのできない迫力のある演奏などに触れるとともに、「命」や「人を信じること」の大切さなど多くのことを学びました。

【住民福祉課】

新規採用者職員紹介



野口 政揮

私は、総務課で町内放送や企画を担当させて頂いております。野口政揮と申します。幼いころから慣れ親しんだ、自然豊かで美しい古座川町で働けることを心から嬉しく思っています。新人で至らぬところはばかりですが、早く仕事を覚えて、住民の皆様のお役に立てるよう努力します。よろしくお願いたします。



橋本 和幸

住民福祉課におきまして、障害福祉などを担当させて頂きます橋本和幸と申します。私は、転職してこの古座川町で働かせて頂くことになりました。仕事にも、古座川町にも分からないことばかりですが、早く慣れてお役にたてるように努力します。これから皆様には大変お世話になると思いますが、どうかよろしくお願いたします。



大倉 菜緒

住民福祉課で主に健診業務・食生活改善推進事業を担当させて頂いたきます大倉菜緒と申します。故郷である古座川町に帰ってくることで、住民の方のあたたかさを再実感し、大変嬉しく思います。至らない点ばかりではありませんが、今までお世話になった古座川町民の方々が、健康でよりよい生活が送れるように精一杯頑張りますのでよろしくお願いたします。



皿田 真理

七川診療所で勤務させて頂きます。皿田真理です。心のこもったあたたかい看護ができるよう患者様一人ひとりの立場になって考え、行動ができるよう努めたいと思っています。古座川町の皆さんが安全で安心して暮らせる町づくりを目指して頑張りますのでよろしくお願いたします。



石垣 雄三

建設課で建築関係を担当させて頂いております城万人と申します。小さい頃に川遊びに来ていた古座川町で働かせて頂けることを嬉しく思っております。仕事や古座川町の地理など分からないことも多くありますが、早く仕事を覚えて先輩方のように住民の皆様のお役に立てるよう頑張ります。よろしくお願いたします。

人事交流終了のごあいさつ

この度、人事異動により古座川町建設課から西牟婁振興局林務課に配属されることとなりました石垣です。古座川に来た当初、大自然以外、無いものばかりが見えました。

しかし、あるものを数えることを学びました。ケーブルテレビ網、地域ぐるみの子育て、保健師さんの細やかな気配りなど、長所が沢山ありました。是非、自慢して頂きたいと思います。自慢を聞いて人は訪れなくなり、子供達も故郷と認識するのではないのでしょうか。私も皆様と過ごした経験を糧に古座川町を応援し、自慢していきたいと思います。最後になりましたが、様々な面で私と私の家族を支えて下さった鶴川区と古座川町の皆様に心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。



〔退職 3月31日付〕		〔新規採用者〕		〔派遣〕		〔氏名〕		〔新職名〕		〔旧職名〕	
石垣 雄三	和歌山県へ帰職	坂地 弘光	前職 建設課 課長補佐兼検査員	城 万人	建設課 主事補(建築士・看護師)	丸笹 勳二	総務課 主幹	教育委員会 次長補佐			
岡田 成隆	前職 産業振興課長兼検査員	大倉 菜緒	住民福祉課 主事補(保健師)	血田 真理	七川診療所 主事補(看護師)	河口 洋	産業振興課長兼検査員	総務課 課長補佐			
巽 俊彦	前職 総務課 課長補佐	橋本 和幸	住民福祉課 主事補	西畑 真大	和歌山県後期高齢者医療広域連合へ派遣 主事	谷口 智信	議会事務局 局長	財政課主幹兼課長補佐			
		野口 政揮	総務課 主事補	中根 友希	串本町古座川町衛生施設事務組合へ派遣 係長	大倉 一浩	総務課 課長補佐	産業振興課 専門員			
				宮本 旭	建設課 主事	西武彦	住民福祉課 課長補佐	住民福祉課 専門員			
				出合 和宏	財政課 課長補佐	下山 隆正	産業振興課 課長補佐	財政課 課長補佐			
				杉本 涼	教育委員会 主事	洞内 宏文	財政課 係長	総務課 係長			
				片桐 真弓	明神診療所 係長(看護師)	畑下 大輔	財政課 係長	財政課 主事			
						片桐 真弓	明神診療所 係長(看護師)	七川診療所 係長(看護師)			
						宮本 旭	建設課 主事	串本町古座川町衛生施設事務組合へ派遣 専門員			
						出合 和宏	財政課 課長補佐	和歌山県へ派遣 和歌山県東牟婁振興局林務課 技師			
						杉本 涼	教育委員会 主事	住民福祉課 主事			

平成25年4月1日付けで職員の人事異動がありました。